

# キイトルーダ 年1400万円

## 米メルクのがん免疫薬 薬価決まる

厚生労働省は8日に開

いた中央社会保険医療協

議会(中医協)で、米製

薬大手メルクが開発した

がん免疫薬「キイトルー

ダ」について、1日当た

りの薬価を3万9099

円(年間約1400万円)

にする案を提示し了承さ

れた。キイトルーダは高

額な薬価が問題視された

小野薬品工業の「オブジ

ーボ」の競合薬。がん患

者の選択肢が広がりそう

だ。(1面参照)

15日にも発売する。キ

イトルーダは患者の免疫

を活性化してがんを治療

する薬。「オブジーボ」

とともに従来の抗がん剤

よりも効果が優れ、副作

用の頻度も少ないとの期

待が高い。

キイトルーダは昨年、

皮膚がんの一種である悪

性黒色腫と肺がん向け

に承認された。本来なら

昨年11月に発売が予定さ

れていたが、オブジーボ

の価格引き下げの議論が

長引いた影響で薬価が決

まらず発売が遅れてい

た。

オブジーボの価格は2

月から従来の半額となっ

た。今回決まったキイト

ルーダの薬価は体重50キ

ロの患者にオブジーボを

使用した場合と同額に設

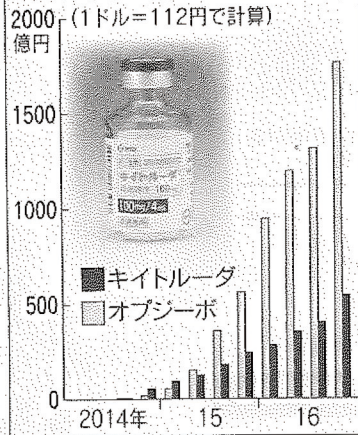
定された。ただし、患者

にかかる薬剤費は必ずし

も同一にならない。

### オブジーボの販売額は キイトルーダを上回る

(1ドル=112円で計算)



オブジーボは患者の体

重によって投与量が異な

り、オブジーボを体重60

キロの肺がん患者に使う

場合は年1700万円、

同40キロなら年1100

万円になる。一方、キイ

トルーダを肺がん患者に

使う際は投与量が固定さ

れるため、年1400万

えるため、キイトルーダ

の方が安くなる場合が多

そうだ。

メルクの日本法人はキ

イトルーダがオブジーボ

よりも有用性が高いとし

て厚生省に薬価の加算を

求めたが、却下された。

メルクの日本法人は「主

張が認められなかったの

は残念」(広報部門)と

コメントした。また米国

より30%、ドイツより25

%安い薬価となった。

キイトルーダの登場

で、日本のがん免疫薬

の市場に変化が生じると

予想される。小野薬品工

業の2016年度のオブ

ジーボ売り上げ予測は1

050億円だが、メルク

は発売4年目のピーク時

に年544億円と予測し

ている。